



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

11月号

港区立南山幼稚園

平成29年10月31日

NANZAN Kindergarten



〒106-0046

港区元麻布 3-8-15

(3408) 4785

ホームページ : Nanzan-kg.

minato-tky.ed.jp

校庭でリレーの勝負を楽しむ4歳児と5歳児。



未就園児の会「こぼとクラブ」で忍者の踊りを披露する4歳児。



土つくりの後、チューリップの球根を植える3歳児。



### 異年齢の育ち合い

園長 こくほ とくこ 小久保 篤子

園全体が一丸となって取り組んだ親子運動会が終わりました。雨天のため、小学校体育館をお借りしての実施となりましたが、子どもたちにとっては「ハレの日」。これまで取り組んできた成果を発表する特別な日でした。いきいきと活動する子どもたちの姿を見て、一人ひとり本当にたくましくなり、心も体も大きくなったと感じています。役員をはじめ運動会委員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、ご支援を賜りありがとうございました。

その後も子どもたちの遊びや生活は、着実に進められています。運動会を経験し、3学年が互いの様子をよく見て刺激し合う場面が多く見られるようになりました。このような姿は、子どもたちにとって、育ちの効果を高めていると言えます。

4歳児は、校庭で折り返しリレーをしている5歳児の仲間に入れてもらい、走る心地よさを味わっています。3歳児は、4歳児や5歳児のすることはすべて憧れの的です。「忍者」の踊りや忍術を教えてもらうなど、忍者ごっこを楽しんでいます。園生活の視野が広がってきたからこそ、異学年のかかわりが生まれてくるのです。「すごいな」「やってみたいな」という思いが、自らを成長させます。5歳児にとっては、自分より幼い子を目の当たりにすることは、自分の成長を実感することにもつながります。

各年齢の発達段階において必要な体験をじっくりとさせていくとともに、同年代の子ども同士でかかわり合う自然な交流の機会を大切にしていきたいと思っています。